「桜ひとひら」	「Tea for Pot -25日のあなた- 登場	「第二章-祈りの環(わ)-」	Serenade 三部作
登 場 人 物	登 場 人 物	登 場 人 物 ※	
朝 倉 悦 子	女	物 ※ 英語訳含む	作

作 井伏銀太郎

寺の住職

たったひとかげらでもいいよ。これでやっと土に還してやれるもの。	本当だったよー。まさがって思うでしょ?それ切れだ時に願いが叶うって言うんだよ。	紐で編んだブレスレットでね、腕に回して願いごどするど昨日やっとミサンガ切れだの。知ってる?ミサンガって。あのね、(バッグから紐が切れたミサンガを取り出し)	海もね、ずーーーっと沖まで見えるようになったよ。	防災庁舎なんて、前は見上げでだのに、あんなに下の方に見えるもんね。お父ちゃん、やっと、こごのバス停 新 しぐなったよ。随分高台になったでしょ。	時計を見て時刻を確認する。	登場人物 女 漁師の夫が震災の津波で行方不明	
		本当だったよー。まさがって思うでしょ?それ切れだ時に願いが叶うって言うんだよ。	本当だったよー。まさがって思うでしょ? それ切れだ時に願いが叶うって言うんだよ。 それ切れだ時に願いが叶うって言うんだよ。 ものね、(バッグから紐が切れたミサンガを取り出し)	海もね、ずーーーっと沖まで見えるようになったよ。 キョだったよー。まさがって思うでしょ?		東日本大震災から数年後の宮城県沿岸部 盛り土で高台になった場所に出来た真新しいバス停。海が見える。 女が一人ベンチに座っている。 時計を見て時刻を確認する。 たたい お父ちゃん、やっと、こごのバス停新しぐなったよ。随分高台になったでしょ。 防災庁舎なんて、前は見上げでだのに、あんなに下の方に見えるもんね。 海もね、ずーーーっと沖まで見えるようになったよ。 海もね、ずーーーっと沖まで見えるようになったよ。 本当だったよー。まさがって思うんだよ。 本当だったよー。まさがって思うでしょ?	登場人物 女 漁師の夫が震災の津波で行方不明 東日本大震災から数年後の宮城県沿岸部 盛り土で高台になった場所に出来た真新しいバス停。海が見える。 女が一人ベンチに座っている。 時計を見て時刻を確認する。 時計を見て時刻を確認する。 たこのバス停 新 しぐなったよ。随分高台になったでしょ。 が災庁舎なんて、前は見上げでだのに、あんなに下の方に見えるもんね。 海もね、ずーーーっと沖まで見えるようになったよ。 海のね、(バッグから紐が切れたミサンガを取り出し) 昨日やっとミサンガ切れだの。知ってる?ミサンガって。 紐で編んだプレスレットでね、腕に回して願いごどするど それ切れだ時に願いが叶うって言うんだよ。

そんでね、実よ 私 もう乍ってんり、ミサンガ。そんでね、実よ 私 もう乍ってんり、ミサンガ。
そんでね、実は 私 も今作ってんの、ミサンガ。誰が考えだんだろね。 昔 は腕輪のごど「環」って言ったんだって。
浜のお母ちゃん達がミサンガ作り出したのね。手作りで 魚 の網に紐編み込んでさ。震災がらしばらぐして、三陸に仕事をって言うんで、
私ほら、手先が器用だったがら誘われだのよ。一緒に作りませんかーって。
前は仕事って言えば加工場でホタテだの牡蠣だの剥いでだでしょ。誰よりも早ぐ。

んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。	お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。	よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。	・・・なんだが 私 、こどもの頃の方がしっかりしてだがもしんない。
(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)	(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) *** *** *** *** *** *** *** *	*** んでもね、 #** んでもね、 #** たい こういう時はありがとうでしょ」って言ったら 「なんだい、こういう時はありがとうでしょ」って言ったら 「なんだい、こういう時はありがとうでしょ」って言ったら 「なんだい、こういう時はありがとうでしょ」って言ったら	よく覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。 お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。 んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) なしたがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 しかごとだってあるんだよ、忘れるの。 (日傘をさしながら) *** たちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。 *** んでも全然苦になんながったよ。んだって必ず帰ってくるってわがってだがら。 んでも全然苦になんながったよ。んだって必ず帰ってくるってわがってだがら。 たんだい、こういう時はありがとうでしょ」って言ったら 「なんだい、こういう時はありがとうでしょ」って言ったら
 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) (日傘をさしながら) (日本をさしながら) (日本をした) (日本を取り出しながら) (日本を取りがとうでしよ」のて言ったがってだがな」 (日本を取り出しながら) (日本を取り出しながら) (日本を取りがとうでしよ」ので言ったがなかったさ。 (日本を取り出しながら) (日本のにの)	んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) みとしいうでも単の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ぢ歩がながったさ。 んだからいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 (日傘をさしながら) ** (日傘をさしながら) ** たていい、こういう時はありがとうでしょ」って言ったら 「なんだい、こういう時はありがとうでしょ」って言ったら	*** いごだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) *** 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。 んでもね、難しいごだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) *** *** たびらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 「年をさしながら) *** *** *** *** *** *** *** *	よく覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。 **** やでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) **** 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 たたい たたがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 (日傘をさしながら) *** *** *** たま *** たま *** たま *** たま *** たま *** ***
4年し 4年し 4年し 4年し 4年し 4年し 4年し 4年しい一年で、 1時間でらいずっと待ってだがなー。 10年でも生ましながら、 10年でも生ましながら、 10年でも生ましながら、 11年間でらいずっと待ってだがなー。 たさったりなんかバス遅れで、11時間ぐらいずっと待ってだがなー。 たても全然苦になんながったよ。んだって必ず帰ってくるってわがってだがら。 んでも全然苦になんながったよ。んだって必ず帰ってくるってわがってだがら。 たでも全然苦になんながったよ。んだって必ず帰ってくるってわがってだがら。	んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) れはほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 れなちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。 んだもれ、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日傘をさしながら) *** た** た** た** た** た** た** た** た** た*	**** いごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) *** 私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ぢ歩がながったさ。 ただがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 (日傘をさしながら) ** ** ** ** たてもえんながったよ。んだって必ず帰ってくるってわがってだがら。 んでも全然苦になんながったよ。んだって必ず帰ってくるってわがってだがら。 お父ちゃんでがら降りできたど思ったら「お、おう、ご苦労」って言うがら	よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。 お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。 れでもね、難しいごとだってあるんだよ、忘れるの。 (目差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) れはほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 れなちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 「日傘をさしながら) *** *** *** *** *** *** *** *
4年し 4年し 私はら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 (日傘をさしながら) (日傘をさしながら)	45° んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 なでもながら) *** や** たた たた たた たた たた たた たた たた たた	*** かったい いごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) *** 私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 *** んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 *** んだからいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 *** んだからいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 んだからいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。	よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。 お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。 んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (目差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) やと 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 んだからいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 人間傘をさしながら)
キャン 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)	んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) たと 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 (日傘をさしながら)	*** れでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) *** 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ぢ歩がながったさ。 *** んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 *** (日傘をさしながら)	よく覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。 *** *** *** 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 れなちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。 *** んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 *** *** んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 *** *** *** *** *** *** *** *
^{4をし} A ² A ² A はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 なだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 しま んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)	んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日奉しに手をかざす。日傘を取り出しながら) ただ れはほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 ただ んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。	*** *** *** れはら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 *** お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ぢ歩がながったさ。 *** んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 *** んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 ***	よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。 ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。 たと 私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 たと たと たと たと たと たと たと たと たと たと
んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)	んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 もだい たき たき たき たき たき たき たき たき たき たき	^{あっ} んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) れはほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 なちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ぢ歩がながったさ。 んだがらいっつも雪どが雨の時は傘2つ持ってこのバス停でお父ちゃん待ってだよね。	³ ** お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。 んでもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。 (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) たと お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ぢ歩がながったざ。 お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ぢ歩がながったさ。
お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)	お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。4月差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)たせし、日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)なせてもね、難しいごどだってあるんだよ、忘れるの。	お父ちゃんは家出る時降ってない限り傘なんか持ち歩がながったさ。	⁸⁰ お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。 そそし (日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら) なし 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、 私はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、
私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、***」(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)	私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、4だと(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。	私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。ねぞちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。	私 はほら心配性だがらいづでも鞄の隅っこに折り畳み傘入れったげど、お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。とそこ、「日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)なごど。
(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)	(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。	(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。れ父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。	(日差しに手をかざす。日傘を取り出しながら)んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。
	んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。	んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。************************************	んでもね、 難 しいごどだってあるんだよ、忘れるの。お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。よく覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。
お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。・・・なんだが 私 、こどもの頃の方がしっかりしてだがもしんない。	よぐ覚えでるもんだね。 どうでもいいようなごど。・・・なんだが 私 、こどもの頃の方がしっかりしてだがもしんない。	・・・なんだが 私 、 こどもの頃の方がしっかりしてだがもしんない。	
お父ちゃんには「お前は都合の悪いごどすぐ忘れる」って言われでだよね。よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。・・・なんだが 私、こどもの頃の方がしっかりしてだがもしんない。うちはそんなもんだど思ってだんださね、こともごころに。	よぐ覚えでるもんだね。どうでもいいようなごど。 ・・・なんだが 私、こどもの頃の方がしっかりしてだがもしんない。	・・・なんだが 私 、こどもの頃の方がしっかりしてだがもしんない。 まだし みだし	うちはそんなもんだど思ってだんださね、こどもこころに、

そしたら私の傘に入ってきて肩抱いでくっからさ、
(傘を回す)「人見でるでしょ」って言ったら
「こんな大雪の中見でんの雪だるまぐれーだ」って言ってまだ喧嘩して笑ってさ。
寒がったげど、お父ちゃんの手えのっかった肩、あったかがったよ。
(ため息をついて)こんな余計なごどまで思い出してしまうっていうのにさ・・・
んでも思い出さないようにしてるうぢはまだ・・・本当に忘れでないんだよね。あんまり思い出さないようにはしてるんだげどね。いろいろ。
地震の後お父ちやんすぐ加工場に来て
「高台さ逃げろ。津波来っから俺は沖に船出す」って言ってまだ戻ってって。
工場の人だちど神社の階段まで駆げ上がって振り返ったら
真っ白い雪降る中お父ちゃんの船、沖に沖にって向がっていってだっけ。
間もなぐ大っきい大っきい波来て、町飲み込まれで・・・家も、車も、人も・・・
みんなどいっしょに、もう祈るしかながった。流されで・・・ふるさとが・・・なぐなって・・・

we we and a set of the set of t
we しょう いってらっしゃい」って言ってくれんの。
どんなに遠ぐの沖まで行ったの?もう帰ってきたら? おそうないですが、
いいんだよいづ帰ってきても。津波も無ぐなったし、町も少しずづ元気になってきてっから、
そんで途 中 で燃料切れでどっかの南の島にでも流れ着いでさ、 とちゅう
そして、「お、おう、帰ったど。俺だ俺だ」って言うんでない?そのうぢ真っ黒に日焼げして、ヒゲなんか腹まで伸びで帰ってくるんでない?
そしたら 私 も 「お、おう、お帰り。 どごまで行ってだの?連絡ぐらいよごせ!」
顔黒すぎる、ヒゲ伸びすぎだって笑って泣いで笑って泣いで・・・って言ってまだ喧嘩するんでない?

お父ちゃんバスで帰ってくるの、何時間でも、何日でも、何年でも。
そんでもまだまだ待ってだら、バス降りできたお父ちゃんに待って待って、待ちわびで、待ち焦がれで、そのうぢ待ち疲れで、待ちくたびれで、
「なにいづまでヒマダレしてんだ?」って怒られっかな。
そうだね。待つのも今日でおしまい。(ミサンガを見ながら)
今日で一区切り。
人生にさ、「第二章」ってあるよね。
お父ちゃん、これがらは、 私 の人生の「第二章」だよ。
(バスが近づく音)
迎えにいぐがらね、お父ちゃん。
(ミサンガをバッグにしまう(バスに向かって歩き出す)(ミサンガに向かって頭をさげ)ご苦労さまでした。(ミサンガを見ながら)おかえんなさい。
溶暗

第二章 祈りの環 英語訳 "Chapter 2: Ring of Prayer"

Written by Ibushi Gintaro Translated by Joseph Grossman

She looks at her wristwatch to check the time. Takes out a torn Misanga from her bag She talks while looking at the Misanga.) (Brand new bus stop. A woman is sitting on a bench

My love, we finally have a bus stop here. It's a lot higher up the hill, isn. t it?

We used to look up at the disaster prevention office building before, but now we see it so far below

And, the sea also can be seen for a great distance now!

come true. It's a bracelet woven with strings. You put it on your wrist and make a wish. When it gets worn off from your wrist, your wish will You know, my Misanga string finally wore off from my wrist yesterday. Do you know what a Misanga is?

It was true. You would, t believe so, would you?

But, I received a call from the police and they found you.

It's a piece of bone. Something called DNA got matched to you.

It's enough to have even such a small piece of you back. Finally, this will enable us to return you back to the soil

I will have to order a nameplate soon, and receive a commandments name from the monk to put on it, and then have a funeral. Am I trying to do too much too quickly? I know, you have always told me that! " you are so impatient."

Well, you will be named . so and so KOJI'.

kanji that means I want to think of the commandments name myself, but I won. t be allowed to do that. So, at least I will ask the monk to include Sea. in your commandments name.

You loved the Sea so much.

Remember, I also got off at this bus stop when I came to wed you from Tokyo. I changed from the Shinkansen to the train and then to a bus, and the last stop was here. You used to jokingly say, "The man of the sea doesn't ride lightly in a car.,
We haven't had a car since then, so it's always been travel from this bus stop, from going on our honeymoon to anywhere else. You used to say "This is our private car _r , Shinichi took it seriously when he was little.
I remember well, don. t I? Although, you used to say " You would forget things fast when it was convenient for you." There are some things that are too hard to forget.
(holds up her hand against the sun. While taking out the umbrella.)
I always keep an umbrella in the corner of my bag, because I am a worrier. But, you didn't carry an umbrella unless it was raining when you left home. So, I always waited for you at this bus stop with two umbrellas when it was snowing or raining, did I not?
(while opening an umbrella) 3 Gin s Bar "Chapter 2 Prayer Ring _a
The bus was delayed on the day it snowed heavily, and I waited about an hour for you. But, it did not bother me at all. Because, I knew you would definitely be back. When you got off your bus, you said, "Oh, oh, you had worked hard, worked hard."
I said, " Shouldn, t it be'Thank you., in a case like this?!" You said meaningless nonsense like " You had worked hard, means you had worked hard. Thank you means thank you., , and we teased while laughing. Than you paper under my under any under the ord burged my charlen
(Circling the umbrella) I said "People are looking at us, aren. t they?, You said, " It would be only a snowman looking at us in such a heavy snow," and we had teased and laughed again.

My love. How far have you gone? Won. t you come home, yet? The tsunami is gone, and the town is getting lively little by little. It. s all right that you can come home anytime.
It makes me feel happiness. Even though it is such an ordinary thing, isn. t it? 4 Gin s Bar "Chapter II Prayer Ring,
When I come home, I say " I am home (tadaima)., It replies "Welcome home (okaerinasai), . In my mind, I feel like I could hear that. When the person who went out saying, "I'm going., comes home saying " I am home.,
The entrance of the temporary housing is narrow, but I keep a small mirror next to the door. When I go out, I look into the mirror and say, " I am going (ittekimasu)., , it replies, , Come home safe. (itterasshai)., .
Soon after that, a huge, huge wave came, and the town was swallowed the house, the car, the people Swept away my hometown was gone I had no choice but to pray with everyone.
<pre>(Looking up at the sky) It was sunny like this that day, wasn't it? You came to the factory immediately after the earthquake. "Run to the high ground. There will be a Tsunami. I. m going to sail my boat off shore., and, you went back. I ran up to the stairs of the shrine with the factory co-workers and turned around, There was your boat sailing off the shore, further and further, all the while snowing white.</pre>
<pre>(Sigh) I remember all these things in vain I am trying not to remember too much. But while I am tryingI realise I have not really forgotten anything.</pre>
It was cold, but my shoulder with your hand holding it was so warm.

Still, if I kept waiting, My love, it is the second chapter of my life from now on. There is a chapter two in life, isn't there? Wait and wait, wait and wait, wait and wait, then... getting tired of waiting, and getting tired of waiting, Shall I wait for you at this bus stop until then, shall I not? Well, they say that Tamaki also means " go around, . I'm going to pick you up, my love Today is the last time I talk to Misanga. Today makes the one finish. Today is my last day waiting. Until you come home by bus, many hours, many days. If it were you, what would you wish for Misanga? What would you pray? (Holds the Misanga up against the sun) (The sound of the bus approaching) (Looking at Misanga) I wonder if you would tell me "Why are you wasting time for so long?, , when you get off the bus? Then... I wonder if I will be able to meet you again, after going around someday? (With her head down/bowing towards Misanga) " Thank you for working hard (otsukaresamadeshita)." (Looking at Misanga) "Welcome home (okaerinasai);

(Put Misanga away into her bag) Slowly dim out

「Tea for Pot -25日のあなた- 」
登場人物女
皿にチョコレートティーケーキ(女が奥の椅子に座る)テーブルの上に湯沸しポット、ティーポット、箱に入った二つのティーカップ手前の椅子の背もたれに男物のジャケットがかかっている女の部屋(女が一人 (テーブルの前後に椅子)
ポットに一杯って・・・誰が飲むのかなのなたに一杯、私に一杯、そして…ポットに一杯(紅茶の缶からティースプーンでポットに紅茶を入れながら)1P
車絡ぐらいちょうだいよ、電話だって、メールだってよかったのにちょっと・・・遅いよ ・・・ずいぶん待ってたんだからおかえりおかえりなさい、おかえりおかえりなさい、(入り口のドアの方を見て 気づき)
お腹は?・・・すいてない、そう、じゃあ、お茶にしよう、そう、紅茶ならいいでしょ(向かいに座って)おかえり、おかえりなさいごめんね疲れてるのに、ほんとごめん、ごめんね、まず座ったら(手前の椅子を引いて座らせる) 心配してたんだから、「ただいま」ってそんだけ? そうだね、そうだよね
でしょ?紅茶もお茶だから、お茶は立てるんでしょ?

2 P どから、まいりかしどよね、あなたって、デっと呼び方が変わり続けるよね、 そのうち子供が生まれたらパパやママになって、結婚して花嫁花婿になって住戦を練ってたんだ・・・いいでしょ? そっちは、あなたは・・君、君って言ってたからね あなた・・・考えたんだけど、いつも君は考えすぎだって言われてたけども、人間てさぁ、大げさだよね たっては、あなたは・・君、君って言ってたからね、あなたって呼んでみようって ずっと思ってたんだよ たいでしょうだって、いっつも、ねえ、とか、あの、とかしか呼んでなかったでしょ?それで両親が名前をつけてくれて たからね、生まれた時は赤ちゃんの時は何にも名前がないわけでしょ?それで両親が名前をつけてくれて がや人ってね、生まれた時は赤ちゃんの時は何にも名前がないわけでしょ?それで両親が名前をつけてくれて たっちは、あなたた・・そっぱり少し恥ずかしいね、でもね、いつかは呼びたかったんだよ、あなたって その後、天国に行ったら戒名になって、赤母して花嫁むり続けるよね、	ケーキぐらいは食べるでしょ、そう、今日はねチョコレートティーケーキだよなしたら、次のホワイトデーは俺がお返しのサプライズだからね、そう、手作り、あれからね、もっと勉強したんだからね、そう、楽しみにしてたのにホワイトデーの3日前にいなくなるんだからだって、サプライズだからね、もっと勉強したんだからね、ケーキぐらいは食べるでしょ、でっくりした?
--	---

たカレ l F O / 1 240 オオイ て匹くるのに

4P	3P 3P 3P 3P
----	----------------------

 (ボットから二つのティーカップに紅茶を注ぐ、テーブルの前と奥にカップを並べ (ボットから二つのティーカップに紅茶を注ぐ、テーブルの前と奥にカップを並べ (すりと色が1番のポイントで立てたんだから なんか言ってよ、美味しいって・・美味しいでしょ? たこれなら君二人でやっていけるねって ねえ、なえってば、あなた・・あなた・・ 本当は、本当はね、私の一番の夢は (手前の椅子を見つめて) 「アナタガ カエッテクルコト」 (男の上着を手に取りドアから去る 男の上着を着て出てくる) ただいま (ゆっくり、紅茶を飲む) 溶暗

朝倉/ 川に。 住職/ 川に流すんだね。	/ .	/ / 関		主職/(今ね、丁叓、士上ずしてだどごだがん?。朝倉/(あ、はい、ありがとうございます(座る)	住職/ 大丈夫大丈夫。どうぞどうぞ(椅子に促す)。	/ あ	住職/ よぐ、ござりした。(合掌)	/	(朝倉、小屋に入ってくる)	住職/ はーい・・・どうぞ。	朝倉/ ごめんください・・・ごめんください。	1 P	住職、木彫りの仏像(お地蔵様)仕上げている。	ないら良いこてたな姿が満見こととたいたこいのつぶ見たら。お茶道具。小さな植木鉢に入った桜の挿し木。	中には彫刻台。机に数体の仏像。彫りかけのもの、角材に下絵を描いただけのものもある。その本堂の脇にあるフレイフの小屋(竹業戸にたっている	デースをつめてりっパイトブートを行こうっている。	寺の住職/ 寺島恵州 朝倉悦子/ 娘の朝倉美咲が行方不明	「桜ひとひら」	
			12°												のもある。		万不明		

住職/	朝倉/	住職/	(間)	朝倉/			住職/	間。	朝倉/			住職/	朝倉/	住職/	朝倉/	住職/	朝倉/		住職/	朝倉/		住職/	朝倉/	住職/	朝倉/	間。	朝倉/	住職/
この間ね、ちょうど千体になりましたね。	ふーん・・・何体ぐらい彫ったんですか?	不思議なもんでね、観音様を彫っと娘に、お地蔵様だど孫に似でくんですよ。		はい。	んでも最後はね、お話、うががいながら仕上げだいど思ってね。	お経を読みながら彫り始めでんですよ。	こんなのでも供養になるんだったらど思ってね。んだがらせめでも	住職、手をはなして仕上がり具合を確かめながら)	よりしろですかね。	この仏さんをね、いねぐなった家族だと思って供養してやりだいんだど。	家も流されで、仏壇やら、お墓までなんにもねぐなったがら	ただただ夢中で彫り続げったら、譲ってくださいっていう方がいでね。	(うなづく)	そんでも、あん時は、何がに夢中になってねーどやり切れなくてね。	(笑う)	いやー最初は、見よう見まねですよ。なんだがヘナチョコなのばりいっぺーでぎでね。	それで彫り始めだんですか。	何とか出来ねえがど思ってね。	うん。他の桜は津波に倒されでね・・ただ瓦礫になっていく桜が哀れでさ	1本だげ・・・。	魚の網どがブイどが絡まったあの桜が1本だげ、たった1本だげ花咲がせででねー。	震災がらしばらぐして、こごさ片付げに来た時ね、傾いで泥だらげになって	ふーん。	いや、見るのが好ぎでね、むがしっから。全国回って色々見ましたね。	ご住職はもともと彫刻やってだんですか?	朝倉、小屋を見回し)	へえ~。	うん。聖なる川ガンジス川ね。流れ流れで、極楽浄土に向がうのよ。

朝倉/	住職/	朝倉/利	住職/ 角	朝倉/ 毎	(言いかけ	住職/あ	_	朝倉/あ	住職/い	朝倉/彼		住職/	朝倉/ ど	住職/	朝倉/松	住職/ 赵	朝倉/ 松	2 P	_	住職/あ	/	/	/	/ .	朝倉/千	
いいでったいには気が魚、いっただいがい言つれたいとうま見た。(笑って)名前ですよ私の。悦子ってりっしんべんに兄に角二つって書きますよね。	(朝倉をじーーーーっと見る)	私も角あるんですよね。	角?	角三本。	(言いかけたところに)	ああそうが、(手で漢字を書いて)木の下に女が一人・・頭の上に	入ってますからね	あぁ、きっと女の人でないんですか。ねぇ、桜って言う漢字の中に女って	いや桜がさ、なんとなぐ女の人のような気いしてね。おがしいすか?	彼女?	初めでの経験でながったのがな、彼女も。	んー・・200年ぐらいって言われでっけど、まぁ千年に1度の大津波だがらなあ。	どのぐらいなんですかね樹齢は。	(笑いながら)あやがりだいもんだね。	桜も長生きしますよねー。	桜? (桜を見る)	桜。 (桜を見る)		長生ぎしなくっちゃなー	あの日、いねぐった人だぢの数までは彫っていぎだいんだよねー。	へえーーー12万体ですか・・・	12万体の仏像を彫ったっていうがら・		まだまだ、円空さんはね・・知ってるすか?円空さん。	千体!	

	朝 倉 /		朝 倉 (間	朝倉/	住職/	朝倉/		住職/	朝倉/	住職/	間。		住職/	朝倉/	住職/	(間)			朝倉/	(間)	朝倉/	信耶	主哉/
・・・何処にもぶっつけられなくて。なにも素直に辛いどが悲しいどが言ったらいいのにって思うんですけど強がってお互い何にもながったようにして・・角付き合わせでるんですよね。	あの時手離さながったら、夫なんかはもっと早ぐ助けに行ってればって、結局	気がついたらもう、腕の中にいながったんです。 音追ってきたど思ったら飲み込まれでしまって。誰がが引き上げでくれだんだげど	私が必死に逃げるもんだがら娘がびっくりして泣いでしまってね。 うしろから大きな	・・・3ヶ月でした。	・・・おいぐづでしたか。	(ため息をつき)せめて骨のひとかけらでも見つかれば土に返してやれるんだげど。	逆はダメだ、逆は・・・。	一休さんの言葉でね、親がら順番に亡ぐなっていぐのが人間の1番の幸せだっつう	はい?	「親が死に、子が死に、そして、孫が死ぬ」	住職、手をはなして仕上がり具合を確かめながら)	げど、そごまで波来て。何のための避難所だったんだべな。	やっとね、笑い始めだどごだったんですよ。娘ど孫で近ぐの中学校に避難したんだ	お孫さんも?	同じだなー、うぢも一人娘と孫いねぐなってね。		なんだが駄目ですね。	だんだろうなぁって思ってね。亡ぐなった子供の年ばっかり数えでしまって。	こうやって桜見ると、今年は小学校に入学だなぁ、三人で手繋いで桜の下歩いで		(桜を見て)彼女も角生やして必死に生きてるんですかね。	魚の網でミサンガ作って売りだしたのも浜のお母ちゃん達だがらね。	いやいや、女はもど」もどうなー。「ごいっつでも沿流されでガックリをてる男童」り目こ

住職/	ぶつければいいんですよそんなのは。溜め込まねぇで。私もね、どうしても
	遣る瀬なぐなった時はぶつけでんですよ。
朝倉/	どごにですか?
住職/	(窓の外見て)あの桜の向こうに海が見えるでしょ。
朝倉/	(窓の外見て)はい。
住職/	昔は見えなかったんだげどね(言いかけたところに)
朝倉/	まさか海に向かって(言いかけたところに)
住職/	「バカヤロー」しかないでしょ。
朝倉/	・・・(笑いをこらえ)なんか・・・昭和の青春してますね・・・・・
住職/	んだっちゃだれ、その世代だもの。
朝倉/	(笑う)
住職/	津波で倒れだ建物に誰がが落書ぎしてだのよ。
朝倉/	落書き?
住職/	「海のバカヤロー」ってさ。「がんばろう東北」だの「絆」なんつう無責任な言葉
	よりよっぽどしっくりきたよね。んでもさすがに大声では叫ばれないがらね
	立場上。んだがら海に向がってね、ちっちゃぐ叫ぶんですよ。
朝倉/	ちっちゃく?
住職/	(立ち上がって、小さく)「海のバカヤロー」
(朝倉を見る)	を見る)
朝倉/	(立ち上がって 小さく「海の ・・・(思わず大きく) バカヤロー」
三人立	(二人立ったまま海を見ている)
3 P	
(唐突に)	ちょっと一服するすか。(お茶の準備)に)
お聞き_	お聞きしたんで。一緒にいただくのはいいんですよね。朝倉/ はい。あっ、もしよろしかったら(箱を差し出す)ご住職はお礼受け取らないって

住職/	なんですか。
朝倉/	おまんじゅう。
住職/	あらー・・・おまんじゅう・・・
朝倉/	あらお嫌いでしたか?
住職/	いや目がないんですけど・・・
朝倉/	けど?
住職/	血糖値が。
朝倉/	・・・持ち帰ります。
住職/	ひとづぐらいなら。
朝倉/	おひとつどうぞ。(まんじゅうを渡す)
住職/	(合掌して受け取り)遠慮なぐ。でも残りは持ち帰ってけさいんね。
	私は誘惑に弱い方だから。
朝倉/	はい、かならず。
(二人笑う。	云う。住職お茶をいれる)
朝倉/	亡くなった人と生き残った人と、その差って何だったんですかね。罪とか罰とか
	関係あったんですかね。でもまだ笑うことさえできなかった幼いあの子に罪なんか
	あるわけないだろうとか・・・なんか色々考えでしまって。
住職/	キリスト教ではね・・・坊主の私が言うのも変ですけど、幼ぐして亡ぐなった
	穢れのない魂は天に昇って天使になるんだってね。
朝倉/	天使。
住職/	キリストさんもいいごど言うなー。(お茶を渡す)
(桜がひ	(桜がひとひら舞う)
朝倉/	桜。
住職/	はい?
朝倉/	花びら。
住職/	ああ、風に吹がれで飛んで来たんだね。
朝倉/	一瞬、ほんの一瞬、まっ白な天使の羽に見えました。
住職/	なんかね・・・あの日がら色変わったような気いすんだよね。
朝倉/	花の色がですか。

////////////////////////////////////	住朝 住 前職倉 職 / /	・・・桜寺なんて呼ばれでだがらね。ひとりで寂しいでしょうね。の日急に降り出した、まっ白い雪、思い出してんだが。うん。波かぶって土の成分変わったんだが。(窓から外の桜を見て)
/ / / / び 人 / / / / / / / / / / / / / /	住職/	春になっとこうやって花びらになって会いに来てくれっからね。挿し木で増やしてんですよ。あの桜の命をつないでやりだいど思ってね。
/ / / / び 人 / / / / / / / / / / / / / /	朝倉/	・・・人間が亡くなると、風になるって言う歌ありましたよね。
/ / / / び 人 / / / / / / / / / / / / ら 笑	住職/	はい。
イノン・シングン・シングン・シングン・シングン・シングン・シングン・シングン・シン	朝倉/	風は見えないから季節が巡る度に、何かを運んで想いを伝えてくれ
/ / べらが舞う。住職、 / べらが舞う。住職、 / べらが舞う。住職、 だびらでは、ど		しれませんね、春には・・・桜。夏には・・・
/ べの葉のまで、どくのよう。	住職/	秋には・
/ ひとひらの雪。	朝倉/	木の葉。冬には・・・
/ ・・・文学青年	住職/	ひとひらの雪。
/ いやいや、青年	朝倉/	・・・文学青年ですねーご住職。
/ んでも、やぶさ / んでも、やぶさ / たびらでは、どく/ たびらでは、どく/ たびらでは、どく/ にい? ごちかったい?	住職/	いやいや、青年っていうにはいささか、
人笑う。お茶を飲む 人笑う。お茶を飲む 人笑う。お茶を飲む べらが舞う。住職、 びらが舞う。住職、 ど、	朝倉/	あそうか。
人笑う。お茶を飲む 人笑う。お茶を飲む べいらが舞う。住職、 びらが舞う。住職、 ど、 だい? だい? だい? だしゃ万	住職/	んでも、やぶさかではないですよ。
人笑う。お茶を飲む ひらが舞う。住職、 ひらが舞う。住職、 イ にい? イ にい? く 花びらでは、ど	朝倉/	・・・んじや万年青年ってことで。
べらが舞う。住職、びらが舞う。住職、	三人应	笑う。お茶を飲む)
/ / べ / / / / / / / / / / / / / / / / /	花ゴ	主職、
/ さっきつまっ、/ ??? はい?	住職/	
/ さっきつまっ、/ ???	朝倉/	はい?
????	住職/	
くなってきつまう	朝倉/	····
/ いつときつの にいし	住職/	さっきのほら、角ではあんまりだがら。

朝倉/	住職/	朝倉/	住職/	朝倉/	住職/	(朝倉、			(仏像を	朝倉/	(仏像を渡す)		住職/	朝倉/	住職/	(長い間)		住職/	(間)	住職/	朝倉/	住職/	(二人松	朝倉/	住職/	朝倉/	住職/	朝倉/
(お辞儀をして去る)	(桜を見て)いづでも、ございん。	・・・彼女に。(桜を見て)	はい?	はい。(帰りかけて)あの・・・また会いに来てもいいですか?	んじゃ、気をつけでね。	仏像を風呂敷につつむ)	ありがとうございます。本当に、ありがとうございました。	一緒に帰ろうね	(仏像を受け取り見て)笑ってる、(仏像に)笑ってるね(仏像を抱きしめる)	ありがとうございます。		何つったって子供の守り神だがらさ。	うん、地蔵菩薩って言う菩薩様なのさ。	お地蔵様。	仏さん、お地蔵さんにしたがらさ。		眠ってんだったら・・・どんなにいいべな。	あの日いねぐなった人達が暗い海の底でねぐ、あいな綺麗な桜の木の下に		屍体が埋まっている」・・が・・・。	「桜の木の下には	何であんなに綺麗なんだべな。	「 人 桜 見 つ め て)	みひら眺めては・・明日を願う。	ひとひら眺めては・・昔を想い、ふたひら眺めては・・今を見つめ、	・・・花びら見上げて、何、思ってるんでしょうね。	ひとひら、ふたひら、みひら(指でツを描きながら)	ああ・・・木の下に女が一人・・・頭の上に、

住職/ あら、おまんじゅう(一瞬、食べようかと手に取り、まわりを見回すが、1個お地蔵様へ捧げる)ふと見るとおまんじゅうの箱が残っている)♪流れ~流れて~極楽浄土~~~と鼻歌まじりに歌いながら戻ろうとして(住職、しばらく見送る。	1個お地蔵様へ捧げる
桜が ひとひら舞う。 御経を読みながら新しい仏像を彫り始める。	
溶暗	
上演希望の方は井伏銀太郎までご連絡ください	
ホームページ 検索「ギンズバー」	
YouTube 検索「ギンズバー」	